

歴史遺産をいかしたまちづくり

2010年の3月27日に夏島貝塚発掘60周年記念シンポジウムが開催され、シンポジウム終了後の見学会とあわせ、多くの参加者を集めました。8月には東京湾第三海堡のコンクリート構造物が夏島都市緑地内に移設され、11月23日にオープンデーを迎えました。当法人にも、貝山地下壕等の見学についての申込みや問い合わせがあります。追浜には、縄文の遺跡から海軍航空隊、海軍航空技術廠の遺構等に至るまで、地域の歴史を刻む多くの資産が存在します。ただ、地元に住んでいても、これらを知らない方はまだ多いと思われま

す。歴史遺産をいかしたまちづくりというと、千葉県館山市のNPO法人安房文化遺産フォーラムの活動が思い起こされます。追浜と同じく東京湾要塞地帯にあり、館山海軍航空隊のあった館山には、赤山地下壕など多くの戦跡が残されています。これらをめぐるスタディツアーに加え、里見八犬伝のふるさとや、青木繁が「海の幸」を描いた漁村などさまざまな歴史・文化遺産をいかしながら、「平和・交流・共生」の地域づくりを進めています。こうした先進的な取り組みを参考にしながら、追浜で何ができるかみなさまとともに考えていきたいと思

います。
(昌子住江理事長)

第三海堡移設工事と貝山地下壕見学会

2010年8月7日、14日、18日の3回にわたって、第三海堡コンクリート構造物の移送と据付け工事が行われました。移設工事は、台船への積込みに1日、台船から公園内への据付けに1日と2日がかかります。この工事の見学会を企画しましたが、2回目と3回目は台風の影響等で日程がずれたため、実際に移設工事が見られたのは7日だけでした。横須賀市リサイクルセンター「アイクル」のご厚意により、約30人の参加者が施設内から見学しました。アイクルの高さを遥かに超える起重機のk巨大な起重機に、500tを超える構造物も小さなブロックに見えるほどでした。公園内の据付けにも、一度試してからやり直すなど、スケールの大きさときめ細かさとともに求められる工事であることが分かりました。(アクションおっぱまHPより)

『貝山地下壕見学のしおり』(会報1,2合併号参照)を活用し、2010年中に実施した見学会は以下の通りです。見学会でも、おっぱまはっけん倶楽部のご協力をいただきました。

7月3日 日大理工学部社会交通工学科(伊東孝先生)30名、
ジャズ演奏家3名

10月11日 NPO法人らしく並木(金沢区)20名

11月26日 追浜3丁目自治会24名 (杉山 暢理事)



追浜 子どもと行けるカフェ案内

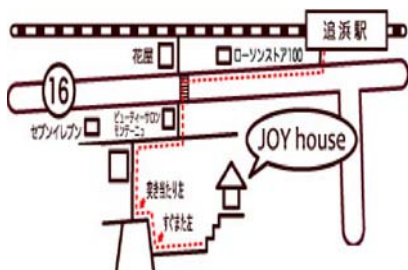
(編集委員会)

JOYhouse
(ジョイハウス)

こんにちわ、みなさん。
あたたかな街のちいさなおうちカフェ、JOYhouseです。
おいしいものを、こころをこめて、つくっています。
たのしいイベントを、こころをこめて、つくっています。
どうぞ BLOG をご覧ください。
JOYhouse で、時間を忘れて、のんびり楽しいひと時をお過ごしください。
JOYhouse は住宅街の階段をのぼった小さな丘の上にあります。
どうぞ、遊びにきてください。



横須賀市追浜町 2-24-14
046-807-3949
営業時間：
木・金・土 11:00~18:00
<http://joyhouse.air-nifty.com/>

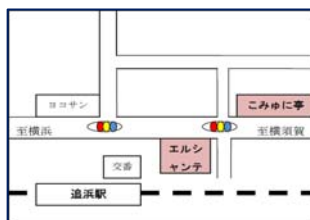


こみゆに亭
カフェ

こみゆに亭カフェでは毎朝山形の白鷹町から送られてくる新鮮で生命力溢れる野菜達が店の木箱に並びます。
11時開店前にこの野菜達を目当てにたくさんのお客様がいらしゃいます。
美味しいお野菜と店内に並ぶ手作り品の数々。そして、全国でも特筆すべきボランティアだけの力で誕生して、洗練された味にまで昇華したワイン。
ちょっとひと休みには喫茶や山形野菜を使ったランチもごさいます。
ぜひ一度こみゆに亭カフェへ足を伸ばしてみてください。



横須賀市追浜町 2-13
046-865-2625
営業時間：
11:00~18:30(日曜は17:00まで)
<http://www.oppama-town.com/town/community.htm>



tsukikoya
(ツキコヤ)

お店のコンセプトは、数寄屋造りの一軒家にソファやテーブルなどを置いた、隠れ家的カフェ空間です。
中でも、ハイクオリティーなスペシャルティーコーヒーは、通の方でも納得する味をご提供致します。
本格的なカフェ料理や旅をして見つけた各地の素材などを、リーズナブルに提供していきたいと考えています。



横須賀市浦郷町 3-51
046-876-8988
営業日：不定
電話でご確認下さい
11:30~23:00(平日)
<http://www.tsukikoya.com/index.html>





ワイン研究会だより



去る11月6日、三笠公園における「よこすか産業まつり」の第2回横須賀おみやげコンテストにおいて、商工会議所会頭賞を受賞しました。スタート時こそ不参加でしたが、5年余に亘りおっぱまワイン造りに携わってきた身にとっては、嬉しい限りです。

おっぱまワインも9月に第22弾を販売しましたが、このワインはどこの葡萄を使って、誰が(何人で)、どのようにして造っているのかご存じでしょうか。商店街初で全国的にも珍しい“手作りワイン”の醸造の現場を紹介したいと思います。

まず葡萄は、もちろん追浜近辺にはありませんが山梨等から持って来るわけでもなく、当初はアメリカ産もありましたが現在はオーストラリア産のみであり、濃縮果汁を冷凍してドラム缶で輸入してい

ます。これを850リットルタンクに走水湧水で希釈して酵母菌を加えて発酵させます。これが仕込み作業です。

発酵を終えると最も大変な瓶詰め作業です。タンク底部からフィルターとモーターを介して「ビン太」という半自動充てん機に接続し瓶に充てんします。これを寸胴鍋の熱湯で62度まで加熱処理し、水道水冷却後コルク栓で瓶の栓をします。3個のガスコンロを炊くため室内は熱気が充満し、全身汗まみれになりますので着替え持参の参加となります。

2か月程度の熟成後、ラベル貼り作業です。表裏一對のラベルを貼り、瓶口のキャップシールを鋸で焼き付けて終了となります。

最後に、メンバーは追浜商盛会3名、ボランティア5名程度の少数精鋭?です。(徳重良和理事)

みんなで追浜さんぽ レポート

「みんなで追浜さんぽ」という企画を追浜コミュニティセンターと一緒に実行しました。この講座の趣旨はママたちが自分たちの目でまちを点検して地図を作ることによって、自分たちの理想のまち、子育てしやすい環境整備、まちづくりの夢を考えること。いろいろな立場(子ども 高齢者 障害者)を想定してユニバーサルな視点を持ってまちを点検することです。

第1回目 フリートーク 追浜はどんなまち?

- ・現状は子供連れでいける場所が少ない
- ・結構坂道が多くてバリアが多い
- ・自由に遊べる公園がない……

などいろいろな意見が出ました

第2回目 お母さんと子どもと一緒にまち歩き

参加親子4組(9名)と講師2名、子育て先輩ママ1名、NPO法人アクションおっぱま2名、追浜行政センター2名ほか総勢17名(うちバギー3台)で行政センターをスタート。

商店街を避けてわき道を入った小さな川には、なんと蟹を発見。それも10匹以上。これには、当日参加した鶴見川ネットワークの亀田さんも驚いていました。みなさん意外な発見があり、新しい子

育て仲間もできてとても楽しかったとのこと。また、大人がなんとも思わないことに子どもがとても興味をもったり、歩きながらも、自然に遊びを取り入れたり、子どもの自由な感性はすばらしいなど感動しました。

第3回目 みんなで地図づくり

まち歩きをした結果、プラス自分でも歩いてみておすすめスポットを紹介しあいました。今回は地図づくりまでいかなかったのですが、これがない、あれがないではないというネガティブな視点ではなく、こんなところがある、ここ知ってるなどポジティブ発言がでたことは何よりです。

講座を終えての感想。

- ・3回だけでなく今後もこういう場がほしい
- ・ちゃんと地図を作りたい
- ・改めて追浜のよいところを知ることができた。

あるママからは、コンビニ前の駐車場にイトインコーナーを設けたい!との宣言。気楽に立ち寄れるママの場所必須ですね。

(吉田洋子理事)

菊地真紀子正会員)



地域連携コーナー

横浜市栄住宅環境フォーラムを迎えて

9月10日、吉田理事の肝いりで栄住宅環境フォーラムの方10名をこみゆに亭にお迎えし、昌子理事長、吉田理事、小生(村澤)などNPOメンバー及び、たまたま小生が住む湘南鷹取2丁目自治会の建築協定委員会メンバー2名と総勢16名が出席し交流会を開きました。

小生の住む湘南鷹取地区は、昭和30年代から大手不動産が開発し、約3,000世帯、8,000人が住む大型住宅団地ですが、少子高齢化傾向(65歳以上が30%)に加えて10年ほど前、2丁目内の車交通量の多いスピカーブに面した市街化調整区域に突如高層マンション建設の話がおき、交通上の不便性・危険性、建築土壌の脆弱性などを争点に住環境を守るため住民闘争を長らく強いられました。結果的には裁判で市が行った建築確認が違法と判断され、建設撤回にはなったが、いかに良好な住環境を守ることが大変かと言う認識のもと、特に、2丁目自治会では建築協定委員会を置き現行建築協定の順守と更に地区計画設定に向けて努力中と言うところでした。

今回、フォーラムの方のお話を聞くと、フォーラムは参加地域も栄区全域に及ぶ規模で、地区計画設定に向けて行政の力も借りて強力に活動しており、加えて国交省の補助金事業として住まい・まちづくり担い手事業なる活動もしておられる由で、その活動には共感を覚えること多く、今後もお互いに有効な情報交換の場ができるのではないかと思います。

初めての試みではありましたが、おっぱまワインを傾けながら、リラックスした雰囲気の中で有意義な時間が作れたのではないでしょう。

(村澤醇治理事)



イベントプレイバック

2010年11月まで	
6月18日	民謡と津軽三味線の会 (澤田勝紀、阿部きみえ)
6月24日	南極講話(高野泰貴)
7月16日	ジャズの夕べ(秦野春樹、K帽)
9月15日	ケルト音楽の夕べ (中島香、ピエール・エル)
10月8日	おっぱまワイン寄席(柳家喬太郎他)
11月20日	未来をつくる 子ども達のために! (秋澤佳明)
11月23日	ちゃんぷるーライブ (肝心、Go!ていびち)
11月23日	Y・フェスタ追浜と第三海堡遺構移設記念オープンイベント
11月28日	ヘルマンハーブ第1回ミニコンサート



編集後記

目的を持って新しい物や組織を組み立てて行くことは容易ではない。アクションおっぱまもその例外ではない。けれど幸いにもアクションおっぱまは関係諸機関の皆様の協力をえて、ワイン醸造から、第3海堡移設公開、コミュニティーカフェの多角的な販売戦略、その他地域に根差したいくつかの種を抱えて歩み始めている。これらの活動が、閉まっている街のシャッターを少しでも開けようと、意欲を持った支援の風を巻き起こさないかと、期待したい心持ちである。

(内野忠治監事)

会報 2010年12月発行 3号

- 発行 特定非営利活動法人アクションおっぱま
〒237-0066 横須賀市追浜町2-13
TEL: 046-865-2625
FAX: 046-866-2790
- 発行人 昌子住江
- 編集 内野忠治、菊池真紀子、昌子住江、
吉田洋子、水沢彰菜(関東学院大学)
矢部綾子(関東学院大学)